

令和2年度 事業報告

社会福祉法人 旭川たいせつ福祉会

特別養護老人ホーム	たいせつの郷 未広たいせつの郷
短期入所生活介護事業所	たいせつの郷 未広たいせつの郷
居宅介護支援事業所	たいせつの郷 未広たいせつの郷 SKたいせつの郷
デイサービスセンター	たいせつの郷 SKたいせつの郷
サービス付き高齢者向け住宅	SKたいせつの郷
訪問介護事業所	SKたいせつの郷

『法人』

1 総括

「サービスの質の向上」

リーダーを対象に「排便ケア」について、令和元年度 北海道老人福祉施設協議会開催「多職種協同研修」に参加した職員が講師となり研修を行いました。その後、リーダーが研修で学んだことをチームにフィードバックし、チームでケアを実践することで、リーダーの学びはより深まり、チーム全体のケアの向上に繋がりました。令和3年度も引き続き排便ケアを通し「個別ケア」を深めてまいります。

令和2年度より各フロアにキャリアパス要件を満たした「フロアーチーフ」を配置しました。定期的に会議を開催し、「現場の課題を抽出」「サービスの質の向上」「労働環境の整備・処遇改善」に取り組みました。

「人材確保と定着並びに育成」

令和2年度は法人全体で46名の採用がありました。拠点別では、たいせつの郷7名、未広たいせつの郷28名、SKたいせつの郷11名です。職員採用が困難となっている状況の中、職員紹介による採用が27名おり6割近くを占めました。「たいせつの郷で働きたい」「働いていて良かった」と思われる職場環境を引き続き整えてまいります。

一方、退職者数は法人全体で32名でした。拠点別では、たいせつの郷6名、未広たいせつの郷20名、SKたいせつの郷2名となっています。

令和2年度より、アクティブシニアを対象とした「介護サポーター」の採用も行っています。介護職員と連携し、業務の効率化を図っております。

又、育成の点では職員の将来性、適材適所も考慮し、3施設間で部署や職種を異動した職員が18名おります。

「財務基盤の強化と安定」

「SKたいせつの郷の完成、開設」

平成30年度より準備を開始した「SKたいせつの郷」ですが、令和2年2月に着工し、10月に引き渡しとなりました。その後、内覧会を経て11月12日より事業を開始しています。開設までの経過については、別紙にまとめています。

各事業所の稼働状況については事業所ごとに報告をまとめています。

「新型コロナウイルス感染症対策について」

感染予防を徹底することで法人内での感染はありませんでした。

感染症対策の為の各補助金を活用し、感染予防、及び、発生した際の対策物品の準備をしました。さらに、万が一発生した際の対応マニュアルの整備、研修を実施しました。

ご利用者・ご家族に対しては、市内の感染状況に応じ、施設内での生活の制限や行事の中止、さらにはご家族との面会や外出・外泊の制限などをお願いし、辛抱頂いた年となりました。

2 実施方策の進捗状況

(1) 法人経営戦略会議

「財務基盤の強化と安定」をテーマに各事業の経営運営状況の共有、検討事項の解決を図りました。又、今年度は定例の会議に加え、新型コロナウイルス感染症に関わる対策会議を随時開催し、情報の共有・感染対策などを検討して参りました。

会議名	参加職員	頻度	内 容
法人経営戦略会議 (三木会)	統括施設長、施設長、副施設長、両施設 GL	1/月	各事業の経営運営状況の共有、検討事項の解決 「法人経営計画」達成の為の施策の具体化

(2) 中期事業計画達成プロジェクトチーム

法人内の課題抽出に取り組み、業務の平準化、職員の育成に取り組みました。

平準化については、主に介護職員の業務内容の共有、書式の変更・統一を図り、質の向上、業務の効率化に取り組みました。

育成については、リーダーの育成を中心に研修を企画し取り組みました。

会議名	参加職員	頻度	内 容
中期事業計画達成プロジェクトチーム	副施設長、入居 GL、生活サポート GL	1/月	「法人中期経営計画」達成の為の施策の具体化

(3) 法人内関連会議

施設間での同じ部署・職種の連携を強化し、サービスの平準化、ケアの向上を図りました。

両施設の情報を常にパソコン上で閲覧できる体制の整備については令和3年度で実施します。

会議名	参加職員	頻度	内 容
相談員・介護支援専門員会議	施設相談員・介護支援専門員・入居 GL、居宅介護支援専門員、デイサービス相談員、SK相談員	1/月	各事業所の稼働状況、空室等状況の共有 苦情を含む、サービス内容の検討・共有 地域・他事業所の情報の共有、 ケースカンファレンス
健康管理チーム会議	看護職員	1回	感染症対策、サービス内容、課題の共有
事務グループ会議	事務職員	1回	業務内容・課題の共有
給食チーム会議	管理栄養士	4回	給食状況、衛生管理等の情報共有、業務の平準化

(4) 自己評価の実施

日々の業務点検の為に、自己評価を継続して行います。

使用帳票	実施頻度	実施責任者	情報公開方法
運営調書	1回/年	各施設長	連絡会議での検討
法人介護方針	1回/年	各施設長	施設内掲示及び資料配布
北海道公表制度	公表制度実施機関指定時期	各施設長	機関ホームページ

(5) 広報活動

ホームページ内にfacebookを開設し、行事や企業説明会などの情報の更新を始めました。

リクルート活動について、企業説明会は新型コロナウイルス感染症の影響により開催の中止が多く、旭川市内の企業説明会に3回参加し、介護職員1名の採用に繋がりました。

ご利用者、職員の確保の為には、情報発信がより重要と考えています。令和3年度より「広報委員会」を設立し、広報活動の強化を図ります。

	対象	実施状況	担当	内 容
広報誌 「たいせつ」	ご利用者、ご家族 地域、リクルート	未実施	編集委員会	施設内行事、求人情報
ホームページ	〃	変更中	〃	〃
facebook	〃	R2.6より開設	〃	〃
法人パンフレット	〃	作成中	〃	施設情報

(6) 地域貢献・地域との交流

① SKたいせつの郷「フィットネス」の地域に暮らす60歳以上の方への一般開放

令和2年11月よりフィットネスを週2回一般開放しています。4月現在で登録人数も50名を超え、各時間、定員20名に対し約15名程度の利用があります。

② シルバーハウジング事業

令和2年5月より旭川市の「シルバーハウジング事業」を受託、運営をしています。永山第一・第二団地在住の高齢者(約20名)を対象とした安心・安全見守り、緊急時対応、関係機関との連絡を行っています。

③ 筋肉らくらくアップクラブ

旭川市介護予防支援事業「筋肉らくらくアップクラブ」の受託、運営をしました。末広地区にお住いの高齢者20名を対象とし自主化を目的とした体操クラブではありましたが、残念ながら自主化には至りませんでした。

令和元年度に同じく運営し自主化した「きらきら体操クラブ」については、末広たいせつの郷を会場として提供していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で会場の提供は出来ませんでした。会場を変え、今現在も開催しており、職員によるフォローアップを行いました。

その他、これまで実施してきました地域住民との関わりについては、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりました。

(7) 研修の実施、資格取得

① リーダー研修

年/月	月	内容	対象者
2	5	「記録」「日誌」の書き方	ユニットリーダー 管理栄養士 看護職員
	6	「事故報告書」の書き方	
	8	「個別ケアの実践」	
	9	～プリストルスケール	
	10	～3・4・5番の排便を目指したケア～	
	11		

② 職員の資格取得援助・支援

令和2年度、国家資格取得支援の為の外部研修経費補助制度を利用し介護職員2名が介護福祉士を取得しました。

又、同制度を利用し介護支援専門員を1名が資格取得、3名が資格更新、主任ケアマネジャー3名が研修の受講をしました。

『たいせつの郷・末広たいせつの郷・SKたいせつの郷』(各拠点)

(1) 関連会議

各拠点の円滑な実施の為、以下の会議を実施しました。

会議名	参加職員	頻度	内 容
拠点連絡会議	施設長、副施設長、事務GL(TL)、入居GL、生活サポートGL、給食TL、健康管理TL、施設管理TL、居宅介護支援事業所長	1/週	各拠点の事業予定確認、検討事項の解決
労働衛生委員会	〃	1/月	労働衛生に関する事項
事故防止検討委員会	〃	1/月	介護事故の報告・分析と対策検討
感染症対策会議	〃	1/月	感染症対策の現状分析